

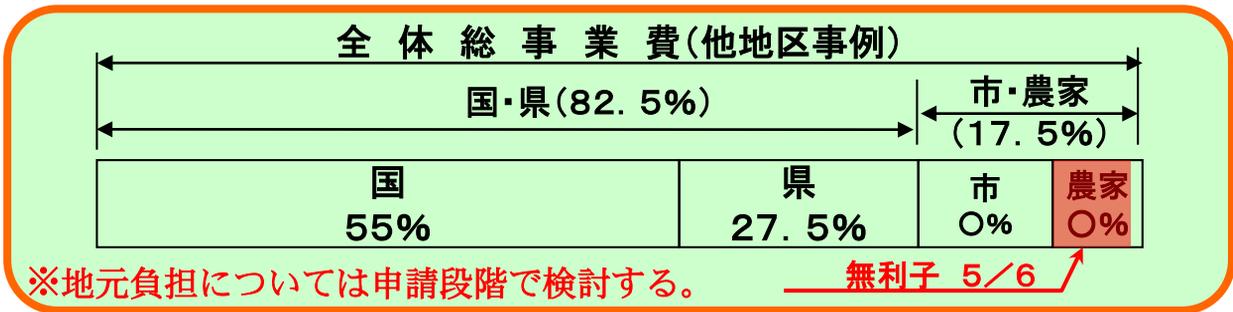
ソフト事業ってどういうもの？

担い手の育成・確保及び農地の利用集積が一層進展するために、基盤整備と一体となった支援施策がソフト事業です。ソフト事業は2種類あり、①農家が負担する工事負担金の借入額の5/6が無利子で借り入れできる制度、②受益面積に占める中心経営体の経営等農用地の面積割合が55%以上となれば、その割合に応じて工事負担金を軽減することが出来る制度です。

①経営体育成促進事業

工事負担金の5/6に対し、無利子融資金の助成を行う制度です。以下の要件を満たす必要があります。

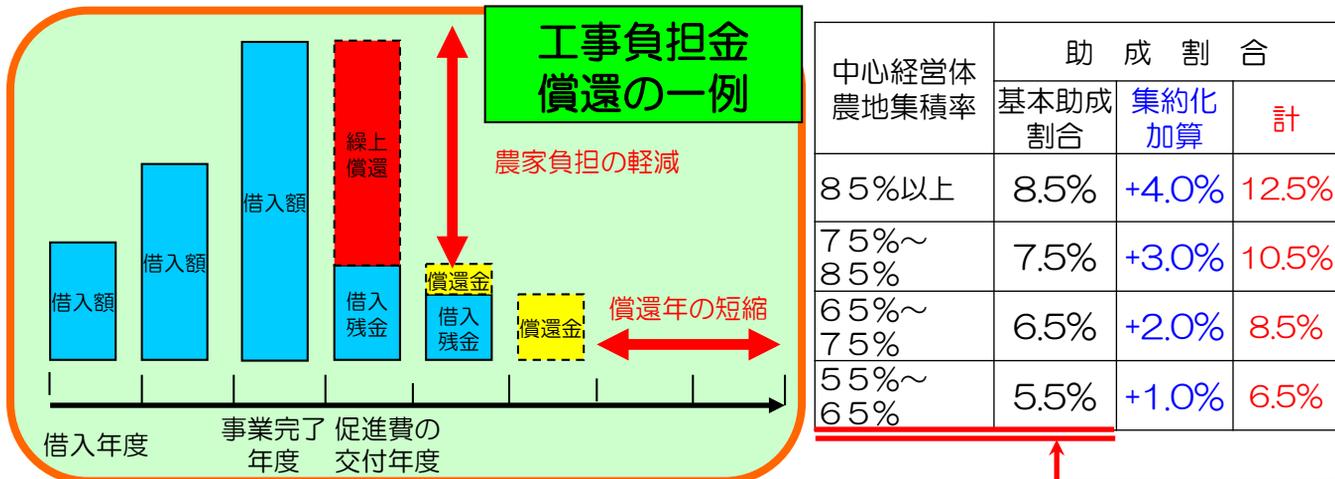
- ア. 担い手の農地利用集積率の一定以上増加。
- イ. 次のいずれかを満たすこと。
 - ・ 地区内の認定農家数の全農家戸数に占める割合が市が定める **目標割合以上**となる事
 - ・ 地区内の認定農家戸数が事業開始時に比べ **30%以上**増加する事



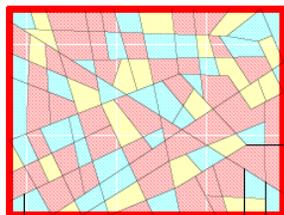
②中心経営体農地集積促進事業

中心経営体に農地の利用集積を行った地区に対して、工事負担金の軽減のための助成を行います。その集積割合に応じ、事業費の**5.5~8.5%**の促進費が交付（集約化（面的集積）加算有）された上で、**工事負担金（元金）の繰り上げ償還**に充てることが出来ます。

※ただし、農家負担額が上限となります。



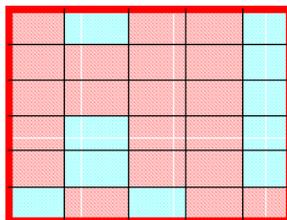
【整備前:50ha】



中心	20ha
離農等	10ha
その他	20ha

$20ha \div 50ha = 40\%$

【整備後:50ha】



中心	30ha
離農等	0ha
その他	20ha

$30ha \div 50ha = 60\% \rightarrow 5.5\%$ (負担金軽減)